

令和2年度 事業計画書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

I. 令和2年度の基本方針

令和2年度はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。日本国内では日本選手のメダル獲得を応援する人達や、世界各国から集まる訪日客によるスポーツ熱で大いなる盛り上がりが見込まれます。

公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団は「青少年スポーツの振興に関する諸般の事業の推進を図り、心身ともに健全な青少年を育成し、もって明るく豊かで活力に満ちた社会の実現に寄与する」ことを目的として活動してまいります。世界選手権大会やワールドカップで活躍する選手の育成・強化のための国内大会の運営協力や、各種目の競技普及とジュニア層の育成のために助成金や奨学金を有効活用し支援してまいります。

II. 令和2年度の事業計画

令和元年度の世界経済は米国・中国の貿易摩擦の激化、中東情勢の問題で混乱し不透明なリスクが多い状況にあり、令和2年度においても予断を許さない動向で推移すると考えます。そのような状況下、当財団の運用資金の半額以上を占める保有株式の配当利金は継続して安定配当が予想されます。併せて、保有している仕組債において米国の利上げ動向が注視されますが、前年と同程度の為替相場で推移し利金確保ができると見込んでおります。

このような財政状況の中、収支相償の法令に従い下記金額を事業計画とし、審査はより効果的に活用されるよう最善の注意を払ってまいります。

事業目的別の事業計画は次の通りです。収支予算は別紙をご参照ください。

1. 助成に関する事業

2,400万円（前年予算対比98%）を計上いたします

2. 奨学に関する事業

1,000万円（前年予算対比100%）を計上いたします

3. 表彰に関する事業

300万円（前年予算対比83%）を計上いたします

III. 令和2年度の募集状況

助成事業と奨学希望者・表彰対象者の募集は、前年に引き続きホームページで情報を公開し、一層わかりやすい内容に努めます。助成事業は公益財団法人日本スポーツ協会や各都道府県高等学校体育連盟等の競技団体へ、奨学事業は各都道府県の教育委員会、全国の体育学部のある大学等へ応募用紙を送付いたします。

今後もより健全な運営に努め、スポーツ振興の礎になるように力を注いでゆく所存です。